

◆TOPICS

福島研究拠点市民公開Day

令和元年11月9日（土）、「東北農業研究センター福島研究拠点市民公開Day」を開催しました。「研究施設公開」という形での開催を含めると、震災後としては、4回目の開催となりました。

今回は、おもしろIoT工作や土の種類と名前を知ろう～近所の土はどんな土～、「被災地のライ麦」を使ったピ

ザ及びパンの試食、放射性物質分析棟の施設見学を行ったほか、野外で農薬散布用ドローンの紹介と実演を行いました。また、サイエンスカフェでは、「ライ麦パンができるまで」と「雑草よもやま話～刈る 耕す 薬を撒く～」の2題について研究担当者が講演を行い、ファシリテータと参加者との活発なやり取りが繰り返されました。

当日は快晴に恵まれ、来場者は100名を超える方々に訪問して頂きました。研究担当者の説明を熱心に聞く様子や、サイエンスカフェでの具体的な対策への質問が多数あり、農業放射線研究への関心の高さを実感し、また、当拠点の研究活動について知っていただく良い機会となりました。

（東北管理部総務課福島管理チーム）



「放射性物質分析棟」施設見学の様子



企画演習の様子